



# 12月のほけんだより

平成27年 第181号



## 乳児の皮膚トラブル

赤ちゃんの皮膚は未熟で、色々なトラブルを生じることがよくあります。今回は、赤ちゃんに起こりやすい皮膚の病気と対処法について簡単に説明します。

### 新生児ざ瘡（ニキビ）

生まれて数週間から1ヶ月くらいの中に、赤ちゃんの顔を中心に、米粒くらいの赤い小さなぶつぶつがたくさんできることがよくあります。これは、大人のニキビと同じものです。お腹の中にいる時の、お母さんのホルモンに影響されていると考えられていますが、原因ははっきりとはしていません。特にはじめてのお子さんの場合には、アトピー性皮膚炎じゃないかなどと、不安に感じられる場合が多いのですが、全く心配ありません。放置しておいても、数ヶ月すれば必ずよくなります。

#### 【対処法】

普通に顔を洗うぐらいの対処法でかまいませんが、どうしても気になるようであれば、病院を受診してみてください。弱めのステロイド剤を塗るだけで簡単によくなります。

### 乳児脂漏性皮膚炎

生まれて数ヶ月以内の赤ちゃんの頭から顔にかけて、少し黄色いかさぶたのようなものが着いて取れないことが時にあります。これも比較的多くみられる症状で、乳児脂漏性皮膚炎と言われる病気です。頭についたかさぶたのようなものを、別名「うぶせ」と呼びます。特徴としてはほとんどかゆくないことです。この症状も基本的には自然に治りますから、心配はありません。よくなるのに少し時間がかかりますので、あせらずに様子を見ることが大切です。

#### 【対処法】

新生児ざ瘡と同じように、普通に石けんを使って洗ってあげてください。この場合も、どうしても気になるようであれば病院を受診してください。薬を塗ることで早くよくなることができます。ただし、注意してもらいたいのは、洗えば洗うほど症状が悪くなる時です。こういう時には、後で説明する乳児皮膚炎やアトピー性皮膚炎などの可能性がありますので、早めに医療機関を受診してください。



## 乳児皮膚炎・アトピー性皮膚炎

赤ちゃんの顔に、赤くてガサガサしたような湿疹、グジュグジュと汁が出るような赤み、ひっかき傷がみられる時や、全身が乾燥しているような時には、乳児皮膚炎あるいはアトピー性皮膚炎が考えられます。特に兄弟や両親のどちらかにアトピーがある場合には、アトピー性皮膚炎である可能性が高いので早めに受診しましょう。

今までに説明した病気とは違い、自然に治ることはまずありませんので、それなりの対処が必要です。



### 【対処法】

このような症状のある赤ちゃんは、生まれつき乾燥しやすいため、毎日、石けんを使うと必要な皮脂までとってしまいますから、ガサガサが激しくなり、かゆみが増してきます。このような時には、沐浴の際の石けんの使用をやめてください。1週間に1回だけ、よくあわ立てた石けんをやさしく手でつけ、洗い流すようにしてみてください。シャンプーも毎日はいりすぎですので、2～3日に1回地肌をこすらないよう髪の毛だけを洗ってください。その上で、お薬を毎日、症状がよくなっても塗り続けることが大切です。また、このような処置を行っても、顔に汁が出るような赤みが残ることがあります。そういう時には、食べ物のアレルギーが関係していることがありますので、主治医とよく相談してください。

## オムツかぶれ

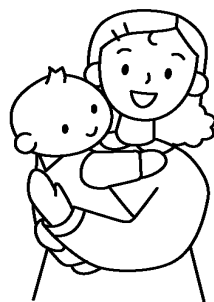
下痢が続いたりすると、お尻のまわりやオチンチンのところが赤くなったり、ただれたりすることがよくあります。



### 【対処法】

症状が強い場合には病院に行く必要があります。軽い場合にはお尻をふいた後、ワセリンなどを塗って皮膚を保護するだけでもよいでしょう。下痢などの症状がなくなると自然によくなってきます。傷ができてしまって傷口から汁が出るような時は、おしりふきを使うとしみて痛がったり、症状が悪くなったりすることがあるので、オムツ交換の時には、ぬるま湯などでやさしく洗ってあげることをおすすめします。

上にお兄ちゃん、お姉ちゃんがいると「たいしたとないや」と思えることも、はじめてのお子さんのときには、すごく心配になります。



あれこれと一人で悩まずに、友だちやお母さんに相談したり、病院で診てもらったりしましょう。

ほけんだよりは、呉市のホームページでもご覧になることができます。

URL <http://www.city.kure.lg.jp/~kodosise/hoken.html>